



野崎さん
株式会社中電シーティーアイ
データサイエンス部

Q: 普段の業務内容を教えてください。

社内のAIやデータサイエンス担当部門に所属しています。
具体的には中部電力が貯めているデータを分析したり、システムを作る部署です。自分はモデル作成の仕事はまだ担当してなくて、現在は作成されたモデルをシステムに組み込む仕事をしています。

Q: 講座で身についたことはなんですか？

AI・画像処理について一通り学ぶことができました。基礎から体系立てて教わったので、自分で復習したり実装したりできるようになりました。
PBL演習を通して、AIプロジェクトの流れを一通り体験することができたので、実際の業務でAIプロジェクトに参加する際のイメージができました。

実際の機材に触れる経験

Q: これから講座を受ける人にひとことメッセージをお願いします。

AIや画像処理を基礎から知りたい人・データは触れているが実際の設備に触っていない人にとっては特におすすめな講座だと思います。どうやってデータをとっていくかを実際に経験できるのは、自分のようなデータを中心に作業する人にとって貴重な経験に思います。

自分でやってみるデータ収集の難しさ

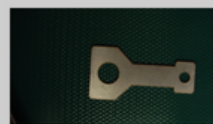
Q: 講座で苦労したことはありますか？

もともとpythonを仕事で使っていたので、座学ではあまり苦戦することはありませんでした。
しかし実際の設備を扱うことはなかったので、PBL演習には苦戦しました。どういう風に撮影すればいい画像が撮れるか全くイメージがつかずとても大変でした。

Q: 講座の率直な感想をお願いします。

仕事で現場に出る機会がなかったため、実際の環境を自分の手であれこれいじるPBL演習はとても楽しかったです。個人的にチームに分かれてコンテスト形式で競い合うというのは好きなのでとてもモチベーションになりました。過去に講座を受けた社内の後輩からPBL演習がとても楽しかったと聞いていて、実際その通りでとてもよかったです。

画像前処理 ① 緑の領域切り抜き

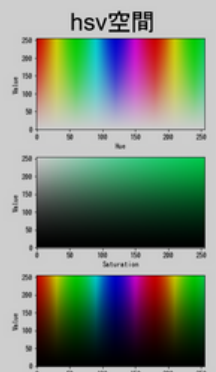
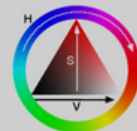


[60, 0, 0]~[100, 255, 255]の領域切り抜き

```
# HSV色空間に変換
hsv = cv2.cvtColor(img, cv2.COLOR_BGR2HSV)
# plt.imshow(hsv)
```

```
# 緑色のHSVの領域
hsv_min = np.array([60, 0, 0])
hsv_max = np.array([100, 255, 255])
```

```
# 緑色領域のマスク (255: 赤色, 0: 赤色以外)
mask = cv2.inRange(hsv, hsv_min, hsv_max)
```





野間口さん
株式会社東海理化 品質保証部

Q: 普段の業務内容を教えてください。

品質保証の部署で、いろいろな部署の問題解決のサポートをしています。
業務内容としては、社内のデータ解析のサポートや、データ活用を推進するための社内教育をしています。

初めて取り組む画像解析

Q: 講座で苦労したことはありますか？

画像解析の仕組みを理解するのが難しかったです。全くの初心者だったので、データがどうなっているのか、どういう風に処理しているのかなかなか理解できず苦労しました。
またPBL演習では、座学で学んだことを実際の環境に結び付けていくのが難しかったです。講師にわからないことをよく質問していましたが、丁寧に答えてもらったのでとても助かりました。

Q: 講座外でどんな自学自習をされましたか？

社内でデータサイエンスの勉強会があって、その中でコンペなどに取り組んでいました。今は練習問題をメインに解いていますが、難しい問題にもすこしずつトライしていきたいと思っています。

Q: 講座の率直な感想をお願いします。

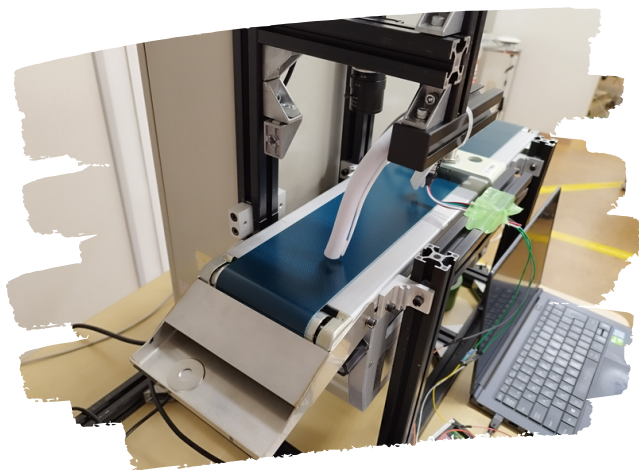
PBL演習でグループワークを進めるのが大変でした。色々な立場のメンバーがいて、参加できる日程に制限があったりするので全然予定通りに進まず苦労しました。座学に関しては、わからないところを質問すると丁寧に答えてもらえるのでとても勉強になりました。

Q: 講座で身についたことはなんですか？

データ解析時に「〇〇をしたいなら、△△という手法が使える」というような、目的別のアプローチ方法が身に付きました。業務やコンペで実践経験を積んでいく中で、目的に合わせたより適切なアプローチができるよう、スキルアップしていきたいです。

Q: これから講座を受ける人に
ひとことメッセージをお願いします。

わからないこと、困ったことがあったら講師が丁寧に教えてくれます。しっかりフォローしてくれる環境なので、困ったら何でも相談してみるのがいいと思います。

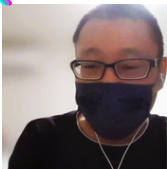


野間口さん班の最終テスト制作物

卒業後も学びは続く . . .

Q: 今後講座の内容を生かして
取り組みたいことは何ですか？

データを解析するだけでなく、そこから解決策を導けるようになりたいです。社内で解決すべき問題がたくさんあります。解析をするのと、解析結果から解決のための案を導くことはまた別のスキルと思います。良い解決案を導くためのスキルも今後伸ばしていきたいです。



塩谷さん
住理工情報システム株式会社
システム開発部 CAE解析課

Q:普段の業務内容を教えてください。

社内の製品の設計支援の仕事をしています。具体的には、シミュレーションソフトを使って工場で生産される製品の特性・耐性を解析し、製品の設計に役立てています。シミュレーションソフトだけでなくAIも活用していきたいという会社の方針があり、その前準備として講座に参加しました。

Q:講座で苦労したことはありますか？

テキストに頼らず自分でコードを書くのが意外と難しかったです。テキストの問題を解くことはできましたが、いざ自分のデータでモデルを組んでようとするとわからないことが出てきて大変でした。

Q:講座の率直な感想をお願いします。

PBL演習のような、実物を交えてチーム開発ができる講座はなかなかなく、とてもためになりました。長い期間じっくり教えてもらえるのでいい経験になりました。

チーム開発の大変さ

Q:講座で身についたことはなんですか？

PBL演習を通して実際のデータをどう集めたらいいか、モデルをどう扱えばいいかなどモデルに実際に使うための技術が身についたと思います。また、チームでプロジェクトを進めるのが初めてだったため、チームビルディングについて学べたのも大きかったです。最初は皆でわいわい作業していたのですが、後半になって時間が足りなくなると、メンバーの状況に合わせて役割分担など色々工夫して素早く柔軟に動けるようになりました。

Q:これから講座を受ける人に
ひとことメッセージをお願いします。

初心者でも丁寧にフォローしてもらえるので、少しでもAIに興味がある方は参加してみるといいと思います。

学びの輪を広げていく

Q:今後講座の内容を生かして
取り組みたいことは何ですか？

社内のAI活用のプロジェクトで、いい結果を出していきたいです。それとは別に社内教育として、これからAIを勉強したい人をフォローしていきたいです。決まった答えのない分野なので教えるのは難しいと思いますが頑張ります。



座学受講中の様子

Q:講座外でどんな自学自習をされましたか？

G検定に挑戦したり、YouTubeで色々な解説動画をみたりして勉強しています。今はE資格の受験を控えていて、本番に向けてラストスパートをかけているところです。



細川さん
株式会社安永
CE事業部 事業企画室

Q: 普段の業務内容を教えてください。

AIやIoT技術を推進していく部署に配属されました。AIやIoTの技術を活用して、自社製品に付加価値を付与していこう、という仕事をしています。
最近の活動としては設備の稼働率の見える化、作業者の行動分析というような作業効率に関する仕事が多いように思います。

Q: 講座で身についたことはなんですか？

知識がない状態から、自分でAIモデルの実装ができるまで成長できたことだと思います。
といってもまだまだなので、今後仕事を通じて技術を伸ばしていきたいです。
知識が身についたことで、社内でAI関係の話ができるようになり自分の成長を感じます。

できることが増えていく喜び

Q: 今後講座の内容を生かして取り組みたいことは何ですか？

社内でのAI活用をもっと加速させたいです。できる人が少なく、AI活用がなかなか進まない状況でした。自分も講座を卒業してAI開発ができるようになったので、部署としてAI活用をより進めていけると思っています。
会社としてまだまだ紙文化が根強い状態です。自分たちの仕事を通じてもっとデータ活用しようという考えを会社全体に広げていきたいと思っています。

Q: 講座の率直な感想をお願いします

PBL演習がとても楽しかったです。
チームメイトとディスカッションしながら進めるうちに、自分の実力も高めることができましたと思います。もう少しPBL演習をやりたかったなあと思いました。

Q: これから講座を受ける人にひとことメッセージをお願いします。

実際の環境構築を体験できることがこの講座の一番のメリットだと思います。他の企業の方とコミュニケーションをとりながらチームを作って切磋琢磨できるっていうのはとてもいいことです。

他社との交流！

Q: 違う会社の人とチームを組んでみていかがでしたか？

そんなに業種の壁などは感じず、楽しくやることができました。それぞれの詳しい部分について議論あったり、わからないところを教えてもらったりとてもいい関係を築けたと思います。



最終テスト中の細川さん班